

九重大船山登山 R7年11月6~8日



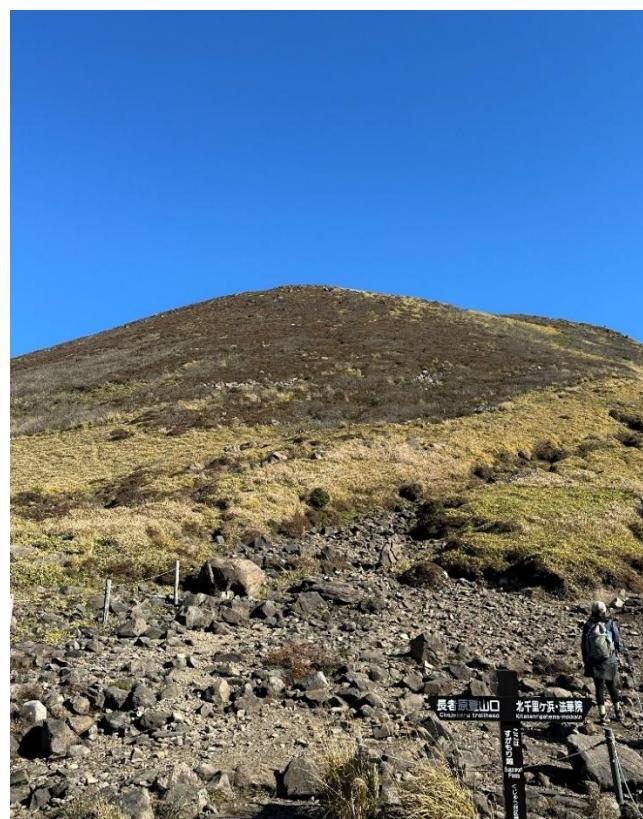
長者原



すがもり峠分岐



すがもり峠

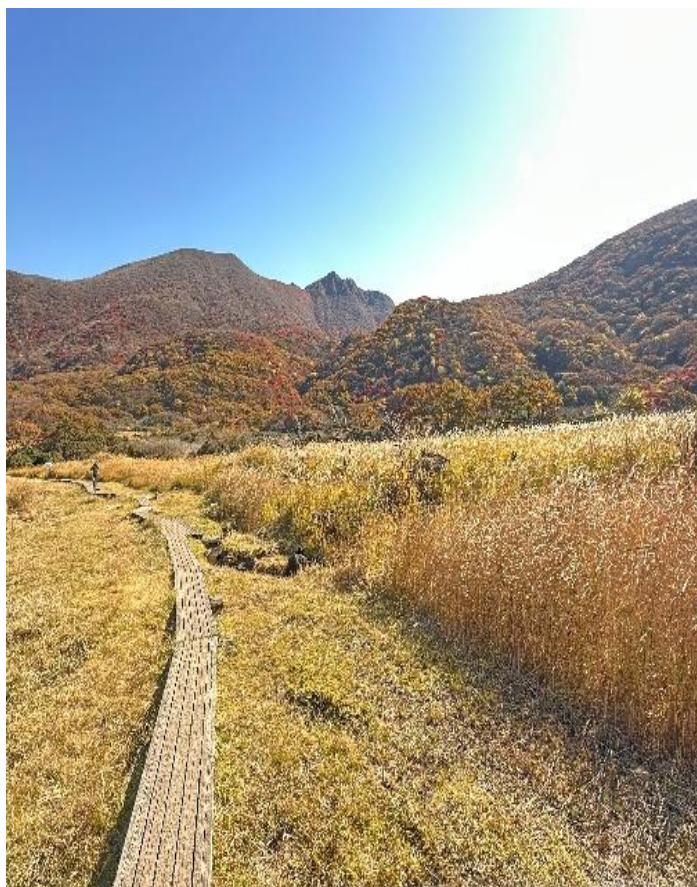


三俣山

※雨ガ池越え往復のルートで計画したが、登山口を間違えて、すがもり峠越えとなった。



法華院温泉山莊

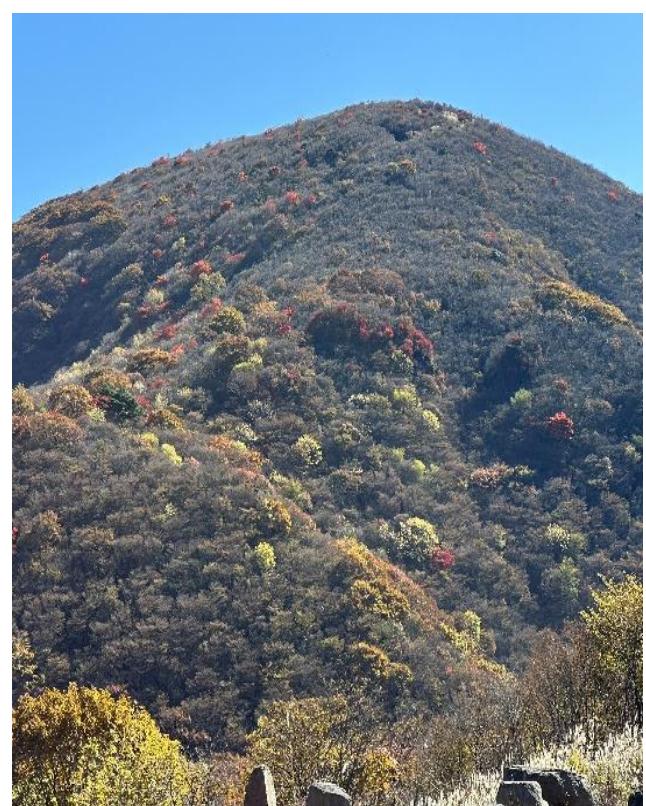
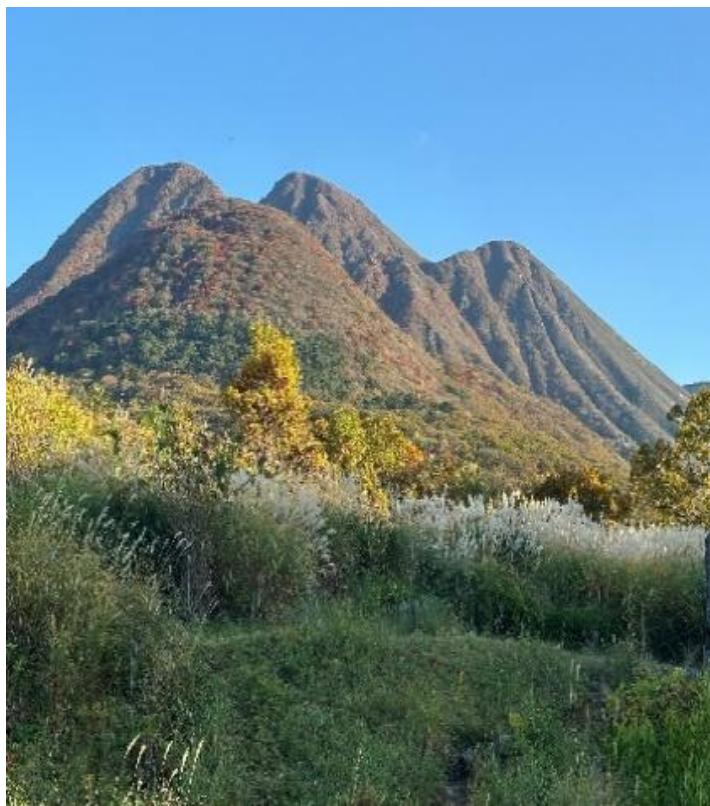


坊がつる

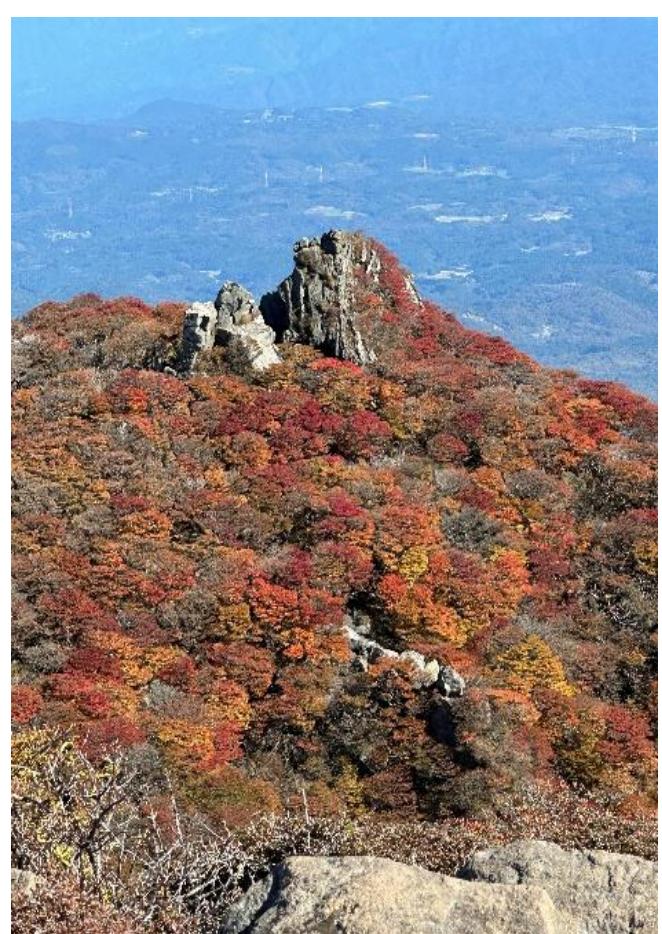
大分県・九重連山にある草原「坊がつる」（竹田市）。2005年、ラムサール条約に基づく「国際的に重要な湿地」に登録され、草原を守る努力が続けられている。この草原の四季を歌い、大ヒットしたのが、「人みな花に 酔うときも」で始まる芦洋子(56)の「坊がつる讃歌」。さんか当初、作者不詳とされたこの歌には、広島高等師範学校（現広島大）の山岳部歌を元歌に、九州の山好きたちが替え歌にして歌い継いだという「秘史」があった。（木戸隆司）

「坊がつる讃歌」讃現

（記事は R7 年讀売新聞）



坊がつるから平治岳、大船山



81歳10ヶ月の疲弊姿

大船山頂上からの紅葉



法華院温泉山荘紅葉



雨ヶ池

行程

11月6日 (木)	月隈JCT～九重IC：90分 九重IC～長者原：30分 那覇空港 11:10～→13:00 福岡空港 14:00～月隈JCT～九重IC～（一般道） 豊後中村～16:50 長者原（宿泊：オベージュコスモス TEL：0973-79-2221）
11月7日 (金)	長者原登山口 7:30～7:50 すがもり峠分岐～9:35 すがもり峠～ 10:40 法華院温泉山荘（標高：1,303m）～10:50 坊がつる～12:15 段原（昼食）～ 大船山（標高 1,786m）～13:40 段原～15:00 坊がつる～ 15:10 法華院温泉山荘（宿泊 TEL：090-4980-2810）
11月8日 (土)	法華院温泉山荘 7:30～8:30 雨ヶ池～9:40 長者原登山口～12:50 博多

あとがき

昨年12月、ゴルフ場で足を滑らして右足腓骨を骨折、一ヶ月間ギブス生活。正月明けにギブスをはとれたが、その後1ヶ月は松葉杖を突いて、2週間ごとの通院と週3回のリハビリが2ヶ月続いた。

3月からはウォーキングで足慣らし、4月にはゴルフを再開した。
ただ、太ももの筋肉はやせ細り、逆に、足先とふくらはんパンパンに腫れ、「むくみ」がなかなかとれない。1時間のウォーキングの後は骨折した右足より左足がケイレンして、ちぐはぐな状態が続いた。

コロナで数年登山ができない期間が続いたが、78歳の屋久島宮之浦岳、79歳の北アルプス爺が岳・鹿島槍ヶ岳は、これが最後の登山と覚悟したが、80歳に縄文杉。

骨折で、もう登山は無理だと思いつつ、今年9月から、県民の森と3回の石川岳でトレーニングをする中で、足慣らしにどこか行こうと思い立って、紅葉の九重行きを計画した。

嶺井 隆